

# 令和4年度 帯広第四中学校 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について(結果と考察)

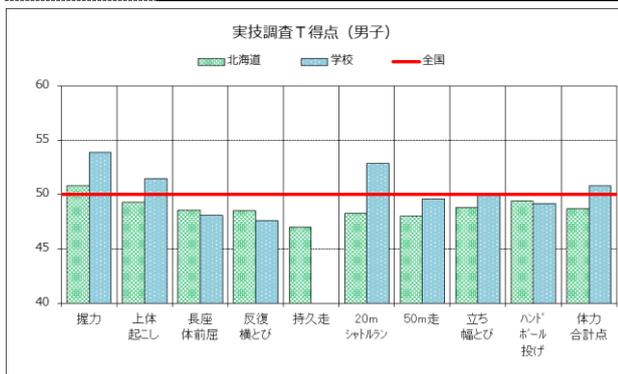
◎ **調査対象** 令和4年度 帯広市立帯広第四中学校 第2学年

◎ **実施時期** 令和4年4月～7月

## ◎ 体力・運動能力調査結果(実技集計より)

中学校 2年男子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
全国	28.99	25.74	43.87	51.05	78.07	8.06	196.89	20.28	41.04
北海道	29.59	25.31	42.33	49.70	73.63	8.28	193.37	19.92	39.63
四中	高い	やや高い	低い	低い	高い	やや低い	やや低い	やや低い	やや高い

中学校 2年女子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
全国	23.21	21.67	46.07	45.81	51.60	8.96	167.04	12.45	47.42
北海道	22.93	20.69	44.62	44.33	46.94	9.19	162.10	12.16	44.85
四中	やや低い	やや低い	やや高い	やや低い	高い	低い	低い	やや低い	低い



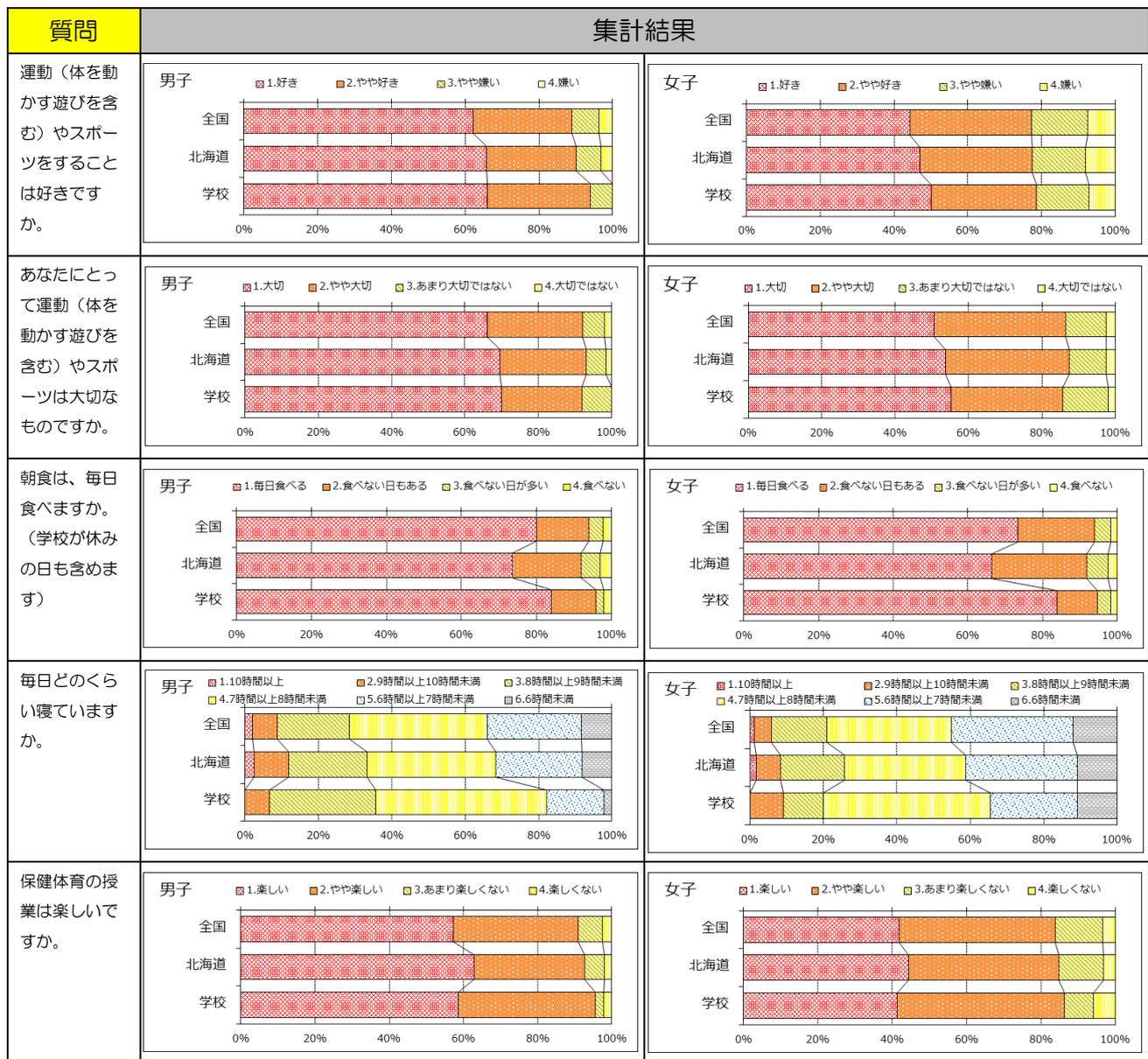
## ◎ 体力・運動能力調査結果から分かること

- 男子は3種目で全国平均を上回り、5種目で全国平均を下回る結果となった。
- 女子は2種目で全国平均を上回り、6種目で全国平均を下回る結果となった。
- 体力合計点は、男子が全国平均をやや上回り、女子は全国平均を下回る結果となった。

## ◎ 体力・運動能力調査結果からの考察

- 男女ともに「20mシャトルラン(持久力)」の数値が、全国平均を大きく上回る結果となった。授業の始めに行っているランニングや、部活動等での走り込みの成果が結果となって表れていると考えられる。
- 男子は「反復横跳び(敏捷性)」の数値が、全国平均に比べて低く課題が残った。日常的に俊敏性を高める運動を授業の始めに取り入れるなど、工夫・改善していきたい。
- 女子は「50m走(スピード)」の数値が、全国平均に比べて低く課題が残った。陸上競技、特に「短距離走」への苦手意識がある生徒が多く、それがそのまま結果となって表れていると考えられる。

◎ 運動習慣調査結果(生徒質問紙集計より)



◎ 運動習慣調査結果からの考察

- 健康や運動に関心・意欲を高め、取り組むことができる生徒が多いと考えられる。
- 体力向上は家庭での生活習慣とも関係している。食事や睡眠といった規則正しい生活の必要性を共有していくとともに、家庭でも運動習慣をつくっていけるように協力・連携していきたい。
- 体育的な行事も定期的の実施し、楽しさの中に自然と身体活動が確保される取り組みを今後も継続して行っていけるようにする。

「保健体育」という教科に対する苦手意識をもった生徒に、運動への興味関心をもってもらうことが大きな課題である。スモールステップの設定や、細やかな声かけ、生徒同士の教え合いをしやすい雰囲気づくりなど、できることを地道に取り組んでいきたい。